

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 2 月 15 日現在

機関番号：15401

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008 ～ 2011

課題番号：20300295

研究課題名（和文） 労働力の女性化がもたらす女性の就業と生活への影響に関する研究

研究課題名（英文） The study of the effect on female work and life from feminization of work force

研究代表者

由井 義通（YUI YOSHIMICHI）

広島大学・大学院教育学研究科・教授

研究者番号：80243525

研究成果の概要（和文）：

労働の女性化の実態を把握するために、労働市場、就業先における労働状況、終業後の生活時間、家族状況などの相互の側面を関連づけながら、労働力の女性化の実態について多面的な解明を試みることによって、経済のサービス化とグローバル化を原因とした労働の女性化について明らかにした。研究の意義としては、労働力の女性化に対して多様な女性就業の実態を捉えるとともに、住宅問題や保育問題を関連させて分析した点である。

研究成果の概要（英文）：

In order to understand the feminization of work force, the aim of this study is to clarify the effects on female works and lives under the influence of the service economy and of globalization, from the view points of working status, living conditions and their family conditions. The significance of the study is to clarify the variety of female work conditions which is caused by feminization of work force, and to explain the association between female work and housing problems or child care.

交付決定額

（金額単位：円）

|        | 直接経費       | 間接経費      | 合計         |
|--------|------------|-----------|------------|
| 2008年度 | 2,900,000  | 870,000   | 3,770,000  |
| 2009年度 | 4,500,000  | 1,350,000 | 5,850,000  |
| 2010年度 | 3,400,000  | 1,020,000 | 4,420,000  |
| 2011年度 | 3,700,000  | 1,110,000 | 4,810,000  |
| 年度     |            |           |            |
| 総計     | 14,500,000 | 4,350,000 | 18,850,000 |

研究分野：地理学

科研費の分科・細目：地理学・地理学

キーワード：女性就業，労働力の女性化，非正規雇用，ジェンダー，保育

## 1. 研究開始当初の背景

女性学で指摘される労働力の女性化について、地理学からのアプローチはわずかである。川瀬(1997)や谷(1998)による郊外地域における既婚女性の通勤に関する分析や、吉田(1998)による宅配業への女性の就業増加に関する研究では女性の就業と生活時間の制約に触れられていた。欧米では Pred(1981)は就

業と家族との関係について時間地理学的アプローチによって分析され、Green(1997)は女性の就業が優先される共働き世帯の居住地選択に関して分析したが、労働力の女性化がもたらす就業構造、家族状況の変化、さらにそれらの種々の側面における変化がもたらす都市構造への影響に関する研究は極めて少ない。就業に関しては、サービス経済の

進行のなかで顕著な現象となっている非正規就業について、有留・小方(1997)や石川(1998)によって明らかにされているが、労働市場と就業女性のライフスタイルや家族状況との関連からは捉えられていない。また派遣労働や製造業における女性就業の増加が、都市内部の地域構造に与えた影響についても十分に地理学的研究が行われているわけではない。同様に、経済のグローバル化の進行がもたらした労働力の女性化については、コールセンターなどの労働需要などの分析がみられるものの、外資系企業での就業実態など、生産と再生産の両領域の関連性から捉えた研究は少ない。そのため、性役割分業システムを見直す社会・経済システムの構造調整が不可避となっているが、地理学から生産と再生産の両者の関連性に注目しながら分析を試みる必要がある。

女性の就業の多様化に関して、応募者を代表とする研究グループでは、未婚女性の就業と生活の分析を試みた若林ほか(2002)による『シングル女性の都市空間』や、既婚女性の就業と家事・育児との関連性から分析を試みた由井ほか(2004)による『働く女性の都市空間』を研究成果として発表してきており、本研究はこれまでの研究を発展させ、労働力の女性化がもたらす都市構造への影響について、生産と再生産の両領域から解明を試みるものである。

## 2. 研究の目的

本研究は、労働力の女性化による女性の就業と生活形態の変化がもたらす都市構造への影響について、女性の就業構造やライフスタイルの変化から明らかにしようとするものである。労働力の女性化の進展は、経済のサービス化といわれる経済の再編成と経済のグローバル化を原因としたものである。特に、経済のサービス化によって、サービス部門における非正規雇用が増加し、それらはフレキシブルな労働力としての女性就業に依存している。これまでの地理学的研究では、就業に重点をおいて研究が蓄積されてきたが、女性就業は労働市場や雇用状況のみの分析では不十分である。女性就業を取り巻く家族状況、女性のライフスタイル、就業意識など、それらの相互作用として就業に関する生産活動と生活面に関する再生産活動の両領域の関連性から分析を試みる必要がある。そこで本研究は、労働市場、就業先における労働状況、生活時間、家族状況などの相互の側面を関連づけながら、労働力の女性化の実態を多面的に解明し、生産と再生産の両領域の変化がもたらす晩婚化や非婚化への影響や都心回帰現象にみられる住宅供給への影響などの都市構造への影響を明らかにすることを目的とする。

## 3. 研究の方法

本研究は、サービス経済化と経済のグローバル化による労働力の女性化の都市構造への影響を明らかにするために、まずサービス経済化による女性就業の変化を次の点から分析を試みた。第1は、オフィスにおける就業者の女性数の増加や女性の職務内容の変化などから、大都市圏の事業所内の女性の役割の変化を事業所への聞き取り調査によって捉えた。第2は、高齢者介護施設などの福祉サービス業に就業する女性の就業実態について、各施設への聞き取り調査と福祉サービス業に就業している女性へのインタビュー調査から明らかにした。第3は、女性起業家の起業実態とその地域展開について明らかにした。第4に大都市圏郊外地域と地方都市における既婚女性の就業について、正規就業者と非正規就業者の雇用上の差異に注目しながら、就業実態と生活状況との関連から明らかにした。第5に、大都市圏と非大都市圏の地方都市における既婚女性の就業を取り巻く社会的ネットワークによるサポートシステムの解明を試みた。第6に、女性就業の背景となる再生産領域の生活面に注目し、居住地の選択、生活様式、住宅需要など、女性の住生活の解明を試みた。上記のアプローチを通して、従来の地理学的研究において女性の就業や生活空間を捉える際に必ずしも十分な配慮が無かった女性の就業意欲や、女性就業を取り巻く地域社会、家族状況、雇用環境などの諸側面を考慮しながら、女性の就業と生活について、マルチスケールで多面的な地理学的アプローチを試みた。

「労働の女性化」は、就業面における女性就業者の増加に着目しがちであるが、女性の就業を取り巻く生活空間については、社会や経済などの地域的状況、生活状況との関連で研究されることは少なかった。そこで本研究は、女性の就業に関わる生産と再生産の両領域の分析を通して、空間のジェンダー化とその地域的展開について、地理学から理論的研究と具体的事例研究の両面から追求した。

## 4. 研究成果

・メソスケールでの研究として、都市圏や都道府県単位で女性就業と生活状況の実態把握をした。

①女性就業に関する地理学関連文献レビューを行い、かかる研究課題の国際的動向を研究した(中澤)。

②女性管理職の就業実態と生活行動に関するネットアンケート調査を実施し、女性管理職の就業と生活実態について解明した(古賀・由井)。

③大都市圏における女性の就業と住生活の変化に対応した住宅供給に関する調査を行い、就業女性の増加に対するディベロッパー

の供給戦略を解明した(由井・久保)。  
・ミクロスケールでの研究として、多様化した女性就業に内在する格差に関連して調査した。

①女性起業家に関するインタビュー調査を行い、起業女性のライフコースを明らかにした(由井・古賀)。

②沖縄県における学童保育および母子世帯の就業と保育に関する調査により、沖縄県の保育問題を解明した(由井, 若林, 久木元, 久保)。

③サンフランシスコで働く日本人女性の就業と生活に関する調査を行い、彼女達のライフコースや就業観を分析した(由井, 神谷, 久保)。

④沖縄県内でコールセンターに就業している女性への、就業と保育に関するアンケート調査, IT支援施設内保育所への聞き取り調査を実施し、沖縄県の女性就業の実態を解明した(宮内・由井・加茂)。

研究成果の発表については、国際学会では2011年4月にハワイでのICASとAASの合同大会で由井・加茂, 久保・由井が審査付き発表で介護施設女性の就業と沖縄の母子世帯の就業について発表し、また2011年4月にAAG大会で由井, 久保が都市研究部会で発表した。さらに8月には科研研究グループのメンバーが中心となって、ヨーロッパ日本研究会(EAJS)で日本の女性就業に関する二つのセッション設置が審査に合格して成果を発表した。研究成果は、経済地理学年報, 地理学評論などの国内主要雑誌とヨーロッパの学術雑誌に掲載された。

本科研の研究成果を集成したものとして、日本地理学会の出版助成への応募が採択され、下記の書籍を出版した。

由井義通編, 神谷浩夫・若林芳樹・中澤高志・矢野桂司・加茂浩靖・久木元美琴・久保倫子・タン レンレン著(2012):『女性就業と生活空間—しごと・子育て・ライフコース—』明石書店。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 33件)

(うち査読論文 18件)

1. 中澤高志・由井義通・神谷浩夫(2012): 日本人女性の現地採用労働市場の拡大とその背景—2000年代半ばのシンガポールの事例—。『地理科学』67-4, 153-172. (査読有り)
2. 宮内久光・由井義通(2012): 沖縄県内のコールセンターで働く女性の就業状況と就業支援。『沖縄地理』12号, 45-56. (査読有り)
3. 若林芳樹・久木元美琴・由井義通(2012):

沖縄県那覇市の保育サービス供給体制における認可外保育所の役割。『経済地理学年報』58(2), pp.79-99. (査読有り)

4. KUKIMOTO Mikoto; WAKABAYASHI Yoshiki; YUI Yoshimichi (2012): Production of Local Childcare Culture in Okinawa and the Impact of Policy Change. *Geographical Review of Japan Series B*, 84(2): 1-11 (査読有り)

5. 久保倫子・由井義通(2011): 東京都心部におけるマンション供給の多様化—コンパクトマンションの供給戦略に着目して—。『地理学評論』84:460—472. (査読有り)

6. 久保倫子・由井義通・久木元美琴・若林芳樹(2011): 沖縄県におけるひとり親世帯の就業・保育・住宅問題。『地理空間』4(2): 81-95 (査読有り)

7. Kubo, T. and Yui, Y.(2011): Transformation of the Housing Market in Tokyo since the Late 1990s: Housing Purchases by Single-person Households. *Asian and African Studies* 15(3): 3-20 (査読有り)

8. 古賀慎二(2011): 東京都区部における女性起業家の就業行動と意識の特徴—男性起業家との比較を中心に—。『立命館地理学』23, 67-80. (査読有り)

9. 加茂浩靖(2011): 那覇市における老人介護サービス業に従事する女性の仕事と生活。『現代と文化(日本福祉大学)』, 第123号, 97-107. (査読なし)

10. 加茂浩靖(2011): 大都市圏における介護サービス業に従事する女性の仕事と生活。『日本福祉大学経済論集』, 第43号, 65-77. (査読なし)

11. 加茂浩靖(2010): 国内周辺地域における製造業務請負労働者および派遣労働者の就業特性—鹿児島市で求職活動をする労働者の場合—。『日本福祉大学経済論集』, 40, 133-142. (査読なし)

12. 中澤高志(2010): 「労働の地理学」の成立とその展開。『地理学評論』, 83, 80-103 (査読有り)

13. 由井義通・加茂浩靖(2009): 介護サービス業に従事する女性の断片化された就業時間と生活—東広島市の事例—。『地理科学』, 64, 211-227. (査読有り)

14. 神谷浩夫(2009): 北陸における定住外国人と多文化共生のまちづくり。『石川自治と教育』, 63(3), 2-17. (査読なし)

15. 宮内久光(2009): 沖縄県外で就労する季節労働者募集に関する組織的求人システムの形成と展開。『沖縄地理』, 92, 27-40. (査読有り)

16. 加茂浩靖(2009): 国内周辺地域における土木技術職の就業特性。『日本福祉大学経済論集』, 38, 69-85. (査読なし)

17. 中澤高志・由井義通・神谷浩夫・木下礼子・武田祐子(2008)：海外就職の経験と日本人としてのアイデンティティ—シンガポールで働く現地採用日本人女性を対象に—。地理学評論, 81(3), 95-120. (査読有り)
18. 由井義通(2008)：都市空間のジェンダー化と住宅問題。『女たちの21世紀 Women's Asia』, 54, 7-9. (査読有り)
19. 若林芳樹(2008)：地図のリテラシーと主題図の読図—『地図で見る日本の女性』の読み方—。『地図』, 46(2), 24-27. (査読なし)
20. Kamiya, H. and Lee, C.W (2009) : International marriage migrants to rural areas in South Korea and Japan: A comparative analysis. *Geographical Review of Japan*, 81(2), 1-8. (査読有り)
21. 宮内久光(2008)：沖縄県における期間工求人企業の地域的活動。『沖縄地理』, 8, 47-59. (査読有り)
22. 中澤高志(2008)：子育て期の女性に対する就業支援としてのNPOによる在宅就業の推進—労働の地理学の視点から—。『地域経済学研究』, 18, 8-22. (査読なし)

(他 11件)

[学会発表] (計 48件)  
(国際学会 22件)

1. Yoshimichi YUI: Housing problems for Japanese women. Société française des études japonaises(フランス日本研究学会), フランス, パリ第7大学, 2011年12月10日(招待講演)
2. Yoshimichi YUI and H.MIYAUCHI: Changing life course of women and feminization of labor force in Japan: Fragmentary women's works. (13th International conference of the EAJS :European Assoc. Japanese Studies, Tallin, Estonia) 2011年8月24日(審査付き発表)
3. Hiroo KAMIYA, Y.YUI, A.TAKI and T.KUBO: New work style of Japanese women working abroad.(13th International conference of the EAJS :European Assoc. Japanese Studies, Tallin, Estonia) 2011年8月24日(審査付き発表)
4. Takashi, NAKAZAWA: Spatial trajectories of the life course of women in postwar Japan. (13th International conference of the EAJS :European Assoc. Japanese Studies, Tallin, Estonia) 2011年8月24日(審査付き発表)
5. Kubo T., Yui Y., Wakabayashi Y., and Kukimoto M. 2011. Single parent families in Okinawa: A comprehensive analysis of their daily problems. (Association on of

Asian Studies and International Convention joint conference, Honolulu, USA) 2011年4月1日。(審査付き発表)

6. Kubo T. and Yui Y. 2011. Changes of Housing Market in Tokyo since the late 1990s: Housing Purchase by Single-person Households. (IGU Urban Commission 2011 Canterbury Meeting in Canterbury Christ Church University, New Zealand) 2011年8月16日。(審査付き発表)

7. Yoshimichi YUI and T. KUBO: Diversification of household structure and housing supply in central Tokyo: a new type of gentrification by single women. Session: Condominium in the City. (Association of American Geographers 2011: Washington convention center, Seattle, USA) 2011年4月14日(審査付き発表)

8. Yoshimichi YUI and Hiroyasu KAMO: Work and Life of Women's Care Workers in JAPAN. (ICAS and AAS joint conference: Hawaii convention center, Honolulu, USA) 2011年3月31日(審査付き発表)

9. Yoshimichi YUI: The activity of recruitment agencies for Japanese women's work abroad.(Worlds of new work? Multi-scalar dynamics of new economic spaces, IGU Commission on The Dynamics of Economic Spaces - Barcelona Meeting, Barcelona, Spain) 2008年8月6日(審査付き発表)

10. Yoshimichi YUI: The diversifying work and life of Japanese women: Feminization in labor market in Japan. (Shanghai Forum 2008, Fudan University, Shanghai, China) 2008年5月25日(招待発表)

(他 12件)

(国内学会 26件)

1. 古賀慎二「東京都区部における管理職就業者の就業実態と生活行動の性差」日本都市学会第58回大会, 2011年11月5日, コラッセ福島.
2. 若林芳樹・久木元美琴・由井義通：沖縄県浦添市における保育サービスの供給と利用の地域的特徴. 2011年度日本地理学会秋季学術大会, 2011年9月23日, 大分大学.
3. 古賀慎二「男性起業家の就業および生活行動の特徴」2011年度地理科学学会春季学術大会, 2011年6月4日, 広島大学.
4. 久木元美琴・若林芳樹：沖縄県浦添市における学童保育の地域的展開. 2010年日本地理学会秋季学術大会, 2010年10月2日 名古屋大学.

5.若林芳樹・久木元美琴・由井義通・久保倫子：沖縄県浦添市における学童クラブ利用者の保育サービス利用実態。2010年日本地理学会秋季学術大会，2010年10月2日名古屋大学。

6.久保倫子・由井義通・若林芳樹・久木元美琴：沖縄県におけるひとり親世帯の就業・保育・住宅問題。2010年日本地理学会秋季学術大会，2010年10月2日名古屋大学。

7.加茂浩靖：那覇市の介護サービス業に従事する女性の仕事と生活。2010年日本地理学会秋季学術大会，2010年10月2日名古屋大学。

8.由井義通・宮内久光：沖縄県のコールセンターで働く女性の就業形態。人文地理学会，2010年11月21日奈良教育大学

9.神谷浩夫・由井義通・久保倫子・瀧敦弘：北米バイエリアで働く日本人女性のライフコース。人文地理学会，2010年11月21日奈良教育大学

10.古賀慎二：女性管理職・起業家の就業実態と生活行動。人文地理学会，2010年11月21日奈良教育大学

11.加茂浩靖：鹿児島市における製造業務請負労働者および派遣労働者の特徴。人文地理学会，2009年11月8日，名古屋大学

12.中澤高志：フレキシビリティというリスク：大分県における雇用削減を題材に。経済地理学会第56回大会，2009年9月27日，大阪市立大学

13.久保倫子・由井義通：世帯の多様化に対するマンション供給の変容－東京大都市圏におけるメジャーセブンの事例－。日本地理学会，2010年3月28日，法政大学。

14.久木元美琴・若林芳樹・由井義通：沖縄県における保育サービスの供給体制－那覇市の事例を中心に－。日本地理学会，2010年3月27日，法政大学。

15.由井義通・神谷浩夫・瀧敦弘・久保倫子：サンフランシスコで働く日本人女性の就業と海外体験。人文地理学会2008年度大会，2008年11月9日，筑波大学。

16.中澤高志・由井義通・神谷浩夫・木下礼子・武田祐子：国際労働力移動としての現地採用日本人女性－シンガポールにおける調査から。日本地理学会秋季学術大会，2008年10月5日，岩手大学。

(他 10件)

〔図書〕(計 4件)

1. 由井義通編，神谷浩夫・若林芳樹・中澤高志・矢野桂司・加茂浩靖・久木元美琴・久保倫子・タン レンレン著(2012)：『女性就業と生活空間－しごと・子育て・ライフコース－』明石書店，262p。

2.OECD 編著 神谷浩夫監訳，鍬塚賢太郎・

由井義通・若林芳樹・久木元美琴・中澤高志訳(2012)：『地図でみる世界の地域格差 OECD 地域指標 2011年版－都市集中と地域発展の国際比較－』明石書店，164p。

3. OECD 編著 神谷浩夫監訳，鍬塚賢太郎・與倉豊・由井義通・中澤高志・武田祐子・久木元美琴・若林芳樹訳(2010)：『地図でみる世界の地域格差 OECD 地域指標 2009年版－都市集中と地域発展の国際比較－』明石書店，200p。

4. Yui, Y. (2009): The Role of Recruitment Agencies for Japanese Working Women in Singapore. Derek Heng and Syed Muhd Khairudin Aljunied ed. "Reframing Singapore: Memory - Identity - Trans-regionalism". Amsterdam University Press., Amsterdam. pp.269-282.

〔その他〕  
ホームページ等

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/yyui/index.html>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

由井 義通 (YUI YOSHIMICHI )  
広島大学・大学院教育学研究科・教授  
研究者番号：80243525

### (2) 研究分担者

若林 芳樹 (WAKABAYASHI YOSHIKI)  
首都大学東京・大学院都市環境科学研究科・教授  
研究者番号：70191723

#### 研究分担者

神谷 浩夫 (KAMIYA HIROO )  
金沢大学・人間科学系・教授  
研究者番号：40192546

#### 研究分担者

古賀 慎二 (KOGA SHINJI )  
立命館大学・文学部・教授  
研究者番号：10234725

#### 研究分担者

宮内 久光 (MIYAUCHI HISAMITSU )  
琉球大学・法文学部・教授  
研究者番号：90284942

#### 研究分担者

加茂 浩靖 (KAMO HIROYASU )  
日本福祉大学・経済学部・准教授  
研究者番号：90454412

研究分担者

中澤 高志 (NAKAZAWA TAKASHI )  
明治大学・経営学部・准教授  
研究者番号： 7 0 4 0 4 3 5 8

(3) 研究協力者

久木元 美琴 (KUKIMOTO MIKOTO)  
日本学術振興会特別研究員

研究協力者

久保 倫子 (KUBO TOMOKO )  
日本学術振興会特別研究員